

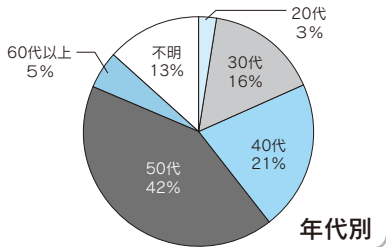
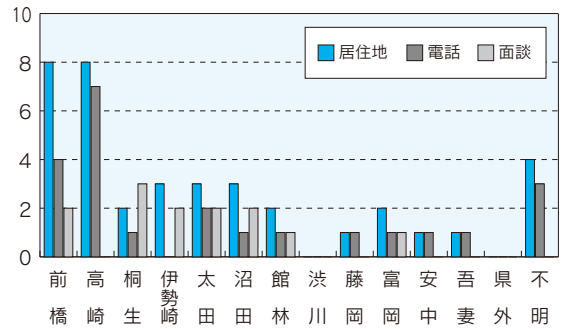
# 第12回地域なんでも労働相談会開催

2月4日～8日までの間に、県連合並びに各地協において第12回地域なんでも労働相談会を実施しました。

毎年、春闘時期に合わせ全国一斉に行っており、連合群馬では期間を拡大し1日～5日の予約を含めて8日間取り組みました。

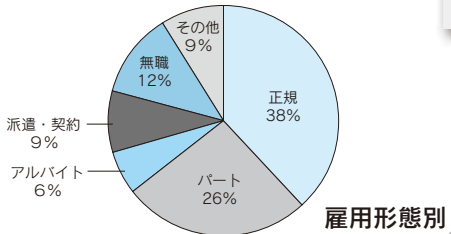
今回は、面談・電話含めて39件の相談が寄せられました。連合群馬は、今後もすべての勤労県民の支援に向けて労働相談に取り組んでいきます。

地域別相談件数及び対応方法



みなさんの親類・友人・知人が労働組合のない職場で働き、心配事・困り事で悩んでいませんか？

連合群馬を紹介してください  
フリーダイヤル イコウヨ レンゴウニ  
0120 - 154 - 052



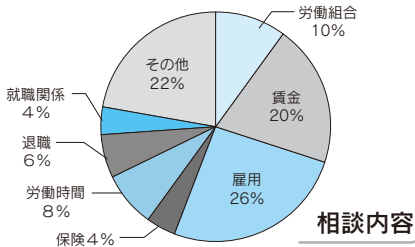
## 非正規労働者支援

連合群馬では、正規雇用の組合員だけの運動にとどまらず、非正規雇用労働者の問題点を明らかにし、賃金・労働条件の底上げ・改善などを目指し「非正規労働センター」を立ち上げ活動しています。

県内全域を街宣



2月は15日～19日の5日間、県内全域の街宣行動を展開しました。



## 連合群馬議員懇談会学習会

## 群馬県新年度予算について

2月8日、勤労福祉センターにおいて、会員・産別・地協代表・連合群馬政策委員など46名が参加し開催されました。

学習会は、江口群馬県財政課長を講師に招き「群馬県の新年度予算について」と題し行われ、平成22年度の当初予算は前年度0.4%減の6,681億となる中、既存事業の見直しを進め、「県民生活の安心・安全の確保に力を入れた予算となっている」との説明を受けました。

その後、質疑が行われ、①雇用対策として国の基金を活用しているが、県が使うお金は減少している。緊急時でもあり県も予算を使うべき、②特別養護老人ホーム待機者対策を市町村と連携してしっかり進めて欲しい、③警察官の増員予算が少ないのでは、など予定時間が足りなくなるほど熱気あふれる学習会となりました。



活発な質疑



挨拶する黒沢代表



江口群馬県財政課長

